

JEITA

電子情報技術産業協会規格

Standard of Japan Electronics and Information Technology Industries Association

JEITA IT - 4003

日本語音声認識用読み記号

Symbols for Japanese Speech Recognizer

2005年3月制定

作 成

音声入出力方式標準化委員会

Technical Standardization Committee on Speech Input/Output Systems

発 行

社団法人 電子情報技術産業協会

Japan Electronics and Information Technology Industries Association

電子情報技術産業協会規格

日本語音声認識用読み記号 Symbols for Japanese Speech Recognizer

1. **適用範囲** この規格は、日本語の音声認識用辞書において認識対象の読みを記述するための記号を規定するものである。

2. **引用規格ならびに文書** 社団法人電子情報技術産業協会「日本語テキスト音声合成用記号(JEITA IT-4002)」, 2005年3月31日

昭和六十一年七月内閣告示第一号「現代仮名遣い」, 1986年7月1日

平成三年六月内閣告示第二号「外来語の表記」, 1991年6月28日

情報処理学会試行標準 IPSJ-TS 0004「音声認識のための読み表記」, 2003年10月10日

3. **用語及び定義** 音声認識システムの一般的な構成を図に示す。

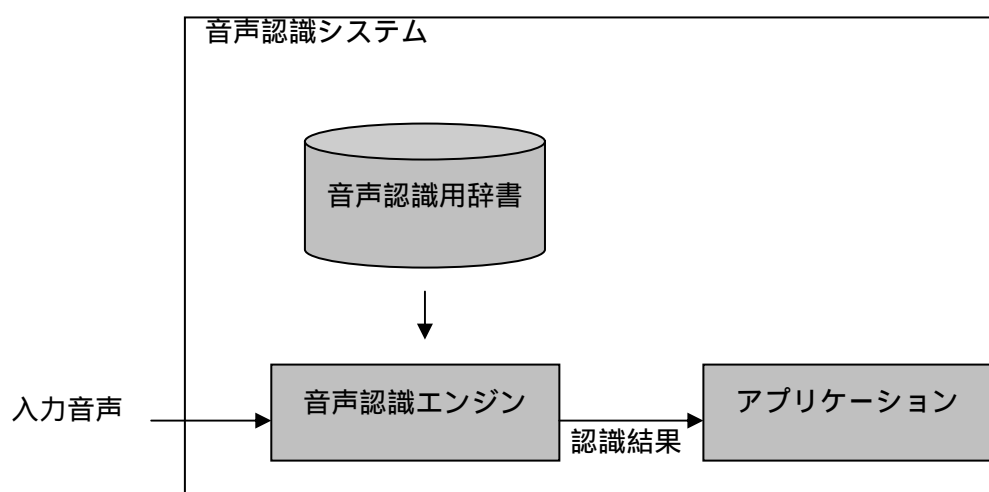


図1 音声認識システムの構成例

以下規格で用いる主な用語を示す。

- 1) **音声認識** 入力された音声进行处理し、その音声に対応する言語的内容を表す記号又は記号列を認識結果として出力すること。
- 2) **音声登録型音声認識** 認識対象の単語を、音声を用いて音声認識用辞書に登録し、入力音声の特徴量と登録された辞書の内容との比較により、入力音声に対応する記号、記号列を認識結果として出力する音声認識。ここでは、読み記号は使われない。